

家庭数

保護者 様

印西市立いには野小学校

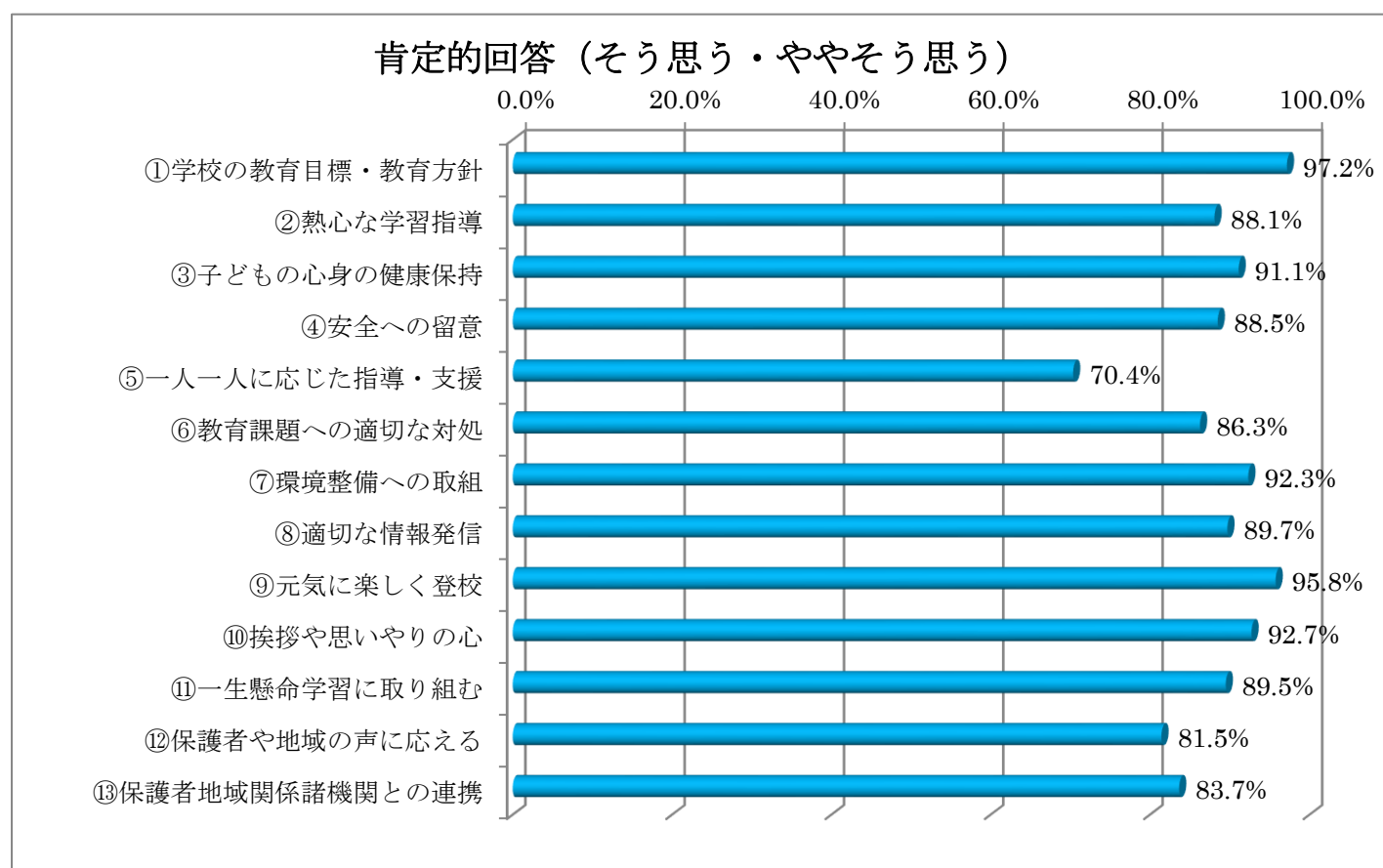
校長 青柳 康幸

学校運営アンケート集計結果 について

残寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

このたび、集計結果について概要がまとまりましたので、以下の通りお知らせします。

配布数（児童数）（502） 回収数（496） 回収率（96.1%）



- ・今年度も、どの項目もおおむね高い評価をいただきました。
- ・②「熱心な学習指導」の評価が高くなっている反面、⑤「一人一人に応じた指導」については、数値が下がっている。教師一人あたりの児童数が増えている中で、より工夫して指導していく必要があると考えております。
- ・⑧「適切な情報発信」についての評価が高くなっていますが、⑫⑬の連携という点では、課題があります。学校・保護者・地域等と双方向に情報交換ができるようにしていきたいと考えております。
- ・⑨⑩⑪の評価を見ると、多くの児童は前向きに学校生活を送っています。③「子どもの心身の健康保持」についても高い評価をいただいておりますが、今後も更に工夫改善をしていきたいと考えております。
- ・④「安全への留意」、⑦「環境整備への取組」については、今後も市教委や地域ボランティアと連携をとり、順次対応していきたいと思っております。

学校運営アンケート自由記述

たくさんのご意見をいただきました。この一覧には、学校運営に関わる内容について記載しました。

学校生活

- ・子どもたちが楽しく過ごせる学校にしてほしい。
- ・挨拶をしない子が多い。

裏面に続きます

- ・低学年からしっかりと善悪の指導をしてほしい。
- ・いじめにつながるような言葉や行動が見られるのが気になる。

学習・体力向上

- ・文章を書かせる機会を増やしてほしい。
- ・勉強の仕方を身につけさせてほしい。
- ・学習面での理解の個人差が気になる。
- ・外部講師を招いた専門性に触れる授業をもっと増やしてほしい。
- ・宿題の量や学校生活に対する情報発信等、学年や学校で統一してほしい。
- ・学校の教材備品の充実を。
- ・個に応じた指導の充実を図ってほしい。
- ・マラソンは年間を通じて取り組み、体力をつけてほしい。
- ・陸上や駅伝練習は、子どもたちの健康や実態にあった内容にしてほしい。

施設管理

- ・教室等の場所をしっかりと案内できるとよい。
- ・駐車スペースを確保してほしい。
- ・お迎えの車が道路に止まっているのは危険である。 注意喚起が必要。
- ・給食配膳用の白衣が傷んでいるので新しいものを支給してほしい。
- ・床の水拭きをした方がよい。
- ・清掃活動を充実し、清潔さを保ってほしい。

行事等

- ・マラソン大会のコースの監視を増やしてほしい。
- ・学習参観は、普段の授業をみたい。 参観の時間を増やしてほしい。
- ・作品展で表彰された子をもっと紹介してほしい。
- ・夏休みの自由研究の作品を保護者にも公開してほしい。
- ・長期休業期間に図書ラウンジや学習スペースの解放がありがたい。
- ・地域の方や保護者の方が参加する行事については、意見や感想を書けるアンケートを用意してほしい。
- ・スクールメールの内容を精選してほしい。 スクールメールを有効に活用していてよい。
- ・行事の予定変更については早めに知らせてほしい。
- ・感染症等より具体的に症状の特徴や対処法の情報を発信してほしい。
- ・毎月の下校時刻一覧をもう少し早めにもらえたら助かる。
- ・保護者の PTA 活動・ボランティア活動を見直してほしい。
- ・教師の言葉遣いが気になる。
- ・目標を定期的に評価した方がよい。

学校関係者評価委員からの主な意見

※2月14日(火)に民生・児童委員、安全パトロール隊、明日会運営委員、学校支援ボランティアの方にお集まりいただき、学校運営委アンケートを基に意見交換会を行いました。

- 低学年児童は、よく挨拶をしている。学年が上がると少なくなっている。
- 挨拶をしている児童はきちんとしている。
- 挨拶は、働きかけしただけで改善されるのではないか。高学年は低学年のよい手本になるようにと声をかける等。
- 大人からも積極的に挨拶をしている方が増えてきているので、その輪を広められるとよい。
- 学校職員だけで抱え込まず、家庭にも遠慮無く協力を求めてほしい。一緒に子どもたちを見ていきたい。
- 英語教育について、地域には多くの外国人がいる。英会話のボランティアを募って外国人と接する機会を増やしてはどうか。体験から習得することも必要である。
- 様々な体験活動を通して、苦手なものにチャレンジしたり、意欲を持って取り組んだりすることができるようになっていく。
- 教材の準備や美化活動等、先生方のお手伝いができるボランティア活動をしたいという声もある。
- 学校全体で共通理解して課題解決のために取り組んでほしい。
- 美瀬方面は将来的に児童が増える見込みなので、通学路について検討が必要である。